



勲章を身につけ、笑顔の岩越さん

いわこいりん  
岩越林さんが高齢者叙勲旭日単光章受章  
まちの農業発展にこの人あり

10/18 旭日単光章を受章した元小川町議会議員の岩越林さんに対し、市役所で守田憲史市長から勲記と勲章が伝達されました。昭和57年から12年に渡り町議会議員を務め、小川町の水田整備など農業の発展のために精力的に活動した岩越さん。「受章は皆さんのおかげ。宮園地区の田畑整備も大変だったが、皆さんと協力したからやり遂げることができた」と当時を振り返っていました。



一生懸命くまモンに色付け

第15回 宇城市食とモノの祭典  
おいしいモノ・楽しいモノ大集合

10/19・20 小川町のイオンモール宇城で宇城市物産展宇城市食とモノの祭典が開催。市の名産品や伝統工芸品などが勢ぞろいし、太鼓や大道芸などのステージイベントも行われ、多くの人でにぎわいました。八代市から訪れ、小川風保存会による風作りを体験した竹林 黎麟たけばやしれいりんさんは「色を塗るのが大変だったけど、出来上がってうれしかった」と喜んでいました。



地域への感謝の思いを伝える今西さん

里親講座開催  
全ての子どもが地域で幸せに育つ

10/25 市役所で里親講座が開かれ約30人が参加しました。これは、地域で子どもたちを育てていくため、里親制度への理解を深めようと市が主催したもの。里親家庭の実子として経験談を語った今西智滉いまにしちひろさんは「里子の妹たちと打ち解けるまでに苦労することもあったが、地域の方が声を掛けてくれて救われた。まずは多くの人に制度のことを知ってほしい」と話していました。



昨年の雨から一転、今年は見事な青空の下で綱引き

第2回 天城橋大綱引き大会  
今年は宇城市が上天草市に雪辱の勝利

10/27 宇城市と上天草市が対戦する天城橋大綱引き大会が三角東港で開かれ、宇城市が勝利を収めました。両市の商工会青年部による実行委主催。天城橋開通を記念して昨年始まったもので第1回は上天草市が勝利。この日は両市合わせて約300人が参加しました。熊本市南区から参加した山田さん一家は「とても楽しかった。次回もぜひ参加したい」と晴れやかな表情で話していました。

大野ふれあい祭り  
絆を深め、子どもの記憶に残るイベントに

9/29 松橋町大野区の大野ふれあい祭りが大野公園で開かれ、約200人が催しを楽しみました。これは、祭りを地域交流の機会とし、日頃からの声掛けや助け合いにつなげようと同実行委(木下繁幸委員長)が毎年開催しているもの。子ども会会長の木村美里さんは「互いのできることを地域で協力していく必要があると思う。この祭りも子どもたちの記憶に残ればうれしい」と話していました。



一番人気はアイスクリームの出店

松橋町の萩尾児童館で閉館式  
たくさんの思い出をみんなの心の中に残して

10/6 萩尾児童館で閉館式が行われ、卒館生ら総勢約80人が集まりました。これは、3歳から就学前までの児童を保育するために昭和53年に開館した同館が、児童数減により令和2年3月に閉館することから開催されたもの。卒園生の吉田誠さんは「大自然の中、楽しい思い出ばかり。児童館はなくなるが、みんなの中でその思い出が生き続けていくように祈っている」と思いを語りました。



最後には思いを乗せた風船が空へと舞い上がりました

県認知症サポーターアクティブチーム認定  
認知症の人や家族を支える力に

10/12 県が認定する認知症サポーターアクティブチームに宇城市の3団体が認定され、認定式が熊本市国際交流会館(熊本市中央区)で開催されました。「ごりょう五区カフェ」代表の松尾恵介さんは「区の住民の3割が高齢者。何とかしなければとの思いで始めた。中身の充実と地域への浸透を図っていきたい」と話していました。その他に「myカフェ」「脳いきいきサポーター」も認定されています。



認定団体の代表者たち

アメリカ海軍の掃海艦「パイオニア」が三角東港に初寄港  
わかき保育園児の太鼓でお出迎え

10/18 アメリカ海軍の掃海艦「パイオニア」(約1,300ト)が三角東港に初めて寄港しました。同艦は、長崎県の佐世保基地に前線配備されているアメリカ海軍第7艦隊の掃海艦です。式典では、ウェイランド艦長が「宇城市は自然が美しい。素晴らしい文化もあるので交流が楽しみ」とあいさつ。わかき保育園の園児13人が歓迎の和太鼓を演奏すると、乗組員から大きな拍手が送られました。



乗組員総勢約90人が一堂に整列